

参加者へ申し込みの際に提示

「日本認知・行動療法学会 遠隔によるケーススタディ参加における注意事項」

我々心理臨床家にとって、ケーススタディはその資質の向上のために欠かせない学びの場です。ケーススタディを遠隔ツールを用いて行うことに対しては、様々な懸念もありますが、日本認知・行動療法学会では、会員の資質向上を最重要事項と考え、遠隔ツールによるケーススタディを積極的に行っていきたいと考えております。遠隔によるケーススタディは、情報の管理についての個人の自由度が高いことが、最も懸念されることです。それゆえに、発表者、参加者それぞれの守秘義務への意識や情報管理への責任感が一層求められます。それぞれが意識を高く持つことで、この貴重な学びの場を作っていけるよう、ご協力の程お願い致します。

遠隔によるケーススタディの参加者にも守秘義務を遵守に関して、下記の事項を熟読のうえ同意いただき、誓約書への記入をお願いしております。

1. 遠隔によるケーススタディに参加される前に、使用されるパソコンのセキュリティソフト及びビデオ会議システム（Zoom）のバージョンが最新版にアップデートされているかを必ず確認してください。
2. 当日の参加の際は、周りに人がいるような公共の場ではなく、ひとりの空間で視聴頂きますようお願い致します。
3. ケーススタディ参加において、知り得た情報およびクライアント等の機密を保持し、第三者に公開・漏洩・利用しないよう、録画、録音、写真撮影、スクリーンショット等は決して行わないでください。
4. 配布資料のプリントアウトやコピーは厳禁になっています。個人が特定できるような情報のメモ書きは、ケーススタディ終了後に、責任をもって破棄していただきますようお願い致します。

**Web アンケート形式 (Google フォーム等) で誓約を依頼**

「遠隔によるケーススタディ参加における個人情報保護に関する誓約書」

日本認知・行動療法学会 ○○ 殿

私は、日本認知・行動療法学会第○回大会の遠隔によるケーススタディ（以下、「本件ケーススタディ」といいます）に参加するに当たって、以下の事項を確認し、同意いたしましたので、誓約書を提出いたします。

- 本件ケーススタディにて知り得た情報およびクライアント等の機密情報の一切を保持し、いかなる第三者に対しても、当該機密情報を公開・漏洩・利用致しません。
- 本件ケーススタディの参加後においても、本件ケーススタディにて知り得た機密情報を保持し、いかなる第三者に対しても公開・漏洩・利用致しません。
- 以上の遵守のため、以下の行為をしません。
  - ・録画、録音、写真撮影はしません。
  - ・スクリーンショット等で画面を保存しません。
  - ・公共の場、参加が認められていない人のいる場所で視聴しません。
  - ・配付資料のプリントアウト、コピー等を行いません。
  - ・その他、上記二項に抵触するあらゆる行為を行いません。
- 本件ケーススタディにて使用された資料等で、個人が特定できるものについては、本件ケーススタディ終了後、復元不可能な方法で破棄することに同意致します。  
例えば、個人が特定可能なメモ等は責任を持って破棄します。
- 故意または過失を問わず、本件ケーススタディにて知り得た機密情報を公開・漏洩・利用したことにより、貴学会に損害を与えた場合には、貴学会に対してその損害を全額賠償します。

以上

令和 年 月 日

氏名：

所属機関名：

住所：

（自宅・所属先 ※いずれかを○で囲んでください）